



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 工業規格の決定

同業者である北海工業と南海工業は、それぞれ新しい主力製品に A 規格と B 規格のどちらの工業規格を採用するかを検討している。北海工業は今まで製品に A 規格を採用することが多かったため、A 規格のほうが低コストで新製品を作ることができる。したがって北海工業だけの事情を考慮すれば、A 規格を採用するほうが、B 規格を採用するより 2 単位多い利益をあげることができる。しかし北海工業の利益は、南海工業が新製品にどちらの規格を採用するかにも左右される。もし北海工業と南海工業の新製品が同じ規格であれば、顧客は安心して北海工業の新製品を買うようになるので、A、B どちらの規格であっても、南海工業と違う規格を採用する場合に比べて、北海工業の利益はさらに 3 単位多くなる。

一方の南海工業は今まで B 規格を採用することが多かったため、北海工業とは逆に、B 規格を採用するほうが、A 規格を採用するより 2 単位多い利益をあげることができる。そして南海工業の利益も、北海工業がどの規格を採用するかで影響を受ける可能性がある。無難な個性の商品を作る北海工業と違って、南海工業は特徴のあるデザインの製品を作るメーカーである。両社が同じ規格の新製品を出した場合は、南海工業の製品のデザイン次第で、南海工業の利益は増減する可能性がある。各社の新製品の規格の組み合わせと、その場合の利益が、下の表に示されている。

		南海工業	
		A 規格	B 規格
北海工業	A 規格	5, X	2, 2
	B 規格	0, 0	3, 2 + X

上の表では、各セルの中でコンマの左側の数字が北海工業の利益、右側の数字が南海工業の利益を示している。両社が同じ規格を採用した場合は、南海工業の利益に相互作用の要素 X が含まれる。X の値は -3 または 0 または +3 である。南海工業は X の値が三つのうちのどれである

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 大林厚臣（2012年2月作成）

かを知っている。しかし北海工業はどれかを知らず、三つの値のどれかである確率が、いずれも  $1/3$  であると考えている。

北海工業の意思決定者は、現時点で南海工業より先に新製品の規格を決めるか、あるいは意思決定を南海工業より後に遅らせて、南海工業の決定を知ったうえで自社の新製品の規格を決めることができる。ただし北海工業が意思決定を遅らせる場合には、北海工業の新製品の投入が遅れる。そのため、北海工業と南海工業の規格がどの組合せであっても、北海工業の利益は前ページの表で示したものより  $0.5$  単位減少する。しかし南海工業の利益は前ページに示したものと変わらない。

今回の新製品の規格が北海工業と南海工業の利益に与える影響は、以上がすべてである。そして北海工業と南海工業の意思決定者は、ともに自社の利益の最大化を図っている。北海工業はどの時点においても、南海工業に尋ねるなどして  $X$  の値を知ることはできない。両社の意思決定者は、この文章に書かれた情報を、互いに共通の認識として持っていることを理解している。

以上

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

---

不 許 複 製

---

慶應義塾大学ビジネス・スクール

---

共立 2012. 2 PDF